

## 木チップ通路報告 2007年

木チップによるマスキング効果を、通路に敷厚を変えて実験を行っています。

### 木チップ舗装状況 2006年7月



5 cm ~ 10 cm

### 木チップ変移実験 2006年8月



敷厚 30 cm ~ 10 cm

### 積雪状況

積雪時は、通路沿いに残雪が見られ、木チップに保温効果が確認できる。



## 1年目の状況

5 cmでも、マスキング効果は有った。5 cmでは、部分的に草本が見られるが、明らかに周囲の繁茂状況とは異なり孤立化した状態である。そのままで通路としての機能は維持できているが、年2回の部分的な整備（手作業による除草）で維持できる状態であった。

2007年9月状況



部分的な草本



イノシシによる掘り返しが随所に見られる。木チップの堆肥化が進めば、イノシシの餌となるミミズや昆虫の幼虫が増え、さらに掘り返しが多くなると予想される。掘り返しにより土が露出した部分には、早期に草本が繁殖する。



木チップで舗装をした当初は、フワフワとした感触で歩きにくい感じがあったが、1年経過時には木チップが落ち着き、歩き易い状態となった。